

令和 7 年昭島市教育委員会定例会第 6 回 議事録

日時：令和 7 年 6 月 5 日

午後 2 時 3 0 分～午後 3 時 2 4 分

場所：市役所 庁議室

昭島市教育委員会

○教育長（山下秀男） 皆様、こんにちは。定刻となりましたので、ただいまから、令和7年昭島市教育委員会第6回定例会を開会いたします。

本日の日程につきましては、お手元に配布のとおりであります。

なお、本日は、説明員の佐藤指導主事から公務による出張のため、欠席の届出がありましたので、これを受理いたしました。

初めに、日程2、前回の会議録の署名につきましては、既に調整を終え、署名もいただいておりますことを御報告申し上げます。

次に、日程3、教育委員会会議規則第16条の規定に基づく、本日の会議録署名委員につきましては、4番、松本委員、5番、眞如委員のお二方となります。よろしくお願いいたします。

次に、日程4、教育長の報告に進めます。

今日の気温は、今、28度ぐらいかなと思うんですけども、だいぶ高くなってきております。週末に、雨が降るパターンがずっと続いておりましたので、5月31日に実施予定でありました、つつじが丘小のスポーツフェスティバル、昭和中、清泉中、拝島中、多摩辺中の体育大会が順延となってしまう、つつじが丘小のスポーツフェスティバルは、翌日6月1日の日曜日に、昭和中、清泉中、多摩辺中は6月4日水曜日、昨日に順延日程の中で、天気恵まれて無事に実施できたところでございます。委員の皆様にも御参観いただきありがとうございます。

残る1校、拝島中については、3日の順延日も雨にたたられてしまいましたので、明日に再順延して実施の予定となっております。明日の予報は、ピカピカの晴れです。間違いなく実施できると思いますが、気温が30度まで上がりそうだとこの予報もありますので、熱中症に十分気をつけながらということになろうかと思っております。いずれにいたしましても、生徒たちが楽しみながら、それが価値ある体験につながるよう願っております。

また、小学校5年生、6年生の移動教室もこれまで順調に実施をされております。昨日、東小の5年生が八ヶ岳方面に出かけて、今日が中日で、明日帰校予定となっております。

すでに5年生、6年生ともに済ませた学校もありますが、これから7月中旬までにおいて、順次実施する学校、学年につきましても、道中の無事、安全と、楽しく貴重な思い出をたくさん作って、価値ある体験をして帰ってこられるよう、心から願うものであります。

次に、5月28日に東小、29日は拝二小に、教育委員会による学校訪問を実施いたしました。委員の皆様、大変お疲れ様でございました。

6月1日現在の、東小の在籍児童数は211名、学級数が9学級、拝二小は481名の17学級となっております。規模に差がありますので、やはり学校全体の雰囲気や児童たちの学校生活ぶりにも、若干の違いを感じるころがありました。

もちろん、これは、どちらがよいとかよくないとかではなくて、先生方の授業、それから児童たちの学習活動の仕方とでも言うんでしょうか、リズムとでも言うんでしょうか、その辺が、ある意味学校らしさになっているのかな、それが違いなのかなというふうに感じたところです。

どちらの小学校も、校舎内、教室内が綺麗で、清掃活動もしっかりされていることや、教室内、共有スペースの掲示物なども、きちんと貼付されておりましたし、子どもたちは両校ともしっかりと挨拶ができていて、気持ちよさを感じることもできました。

今、私から訪問時の感想をざっくりお伝えしましたが、委員の皆様から、補足があれば、項番6のその他の中で発言をお願いしたいと思います。

次に、本年度から6校の小学校において、朝の小一の壁と言われる早朝の見守り事業を実施することとし、4月の1学期始まってからすぐに開始をしたかったところなのですが、見守り要員を委託しておりますシルバー人材センターにおいて、見守り要員の確保にかなりの時間を要してしまったため、5月下旬からの遅れてのスタートとなりました。

結果として、1校目が玉川小で5月23日から、2校目が中神小で5月26日から、3校目が拝二小で5月29日から、4校目が光華小で6月2日にスタートし現在、順調に進められているところでございます。

残りの2校でございますが、拝三小は、6月17日からスタートする予定となっております。残る拝一小は、見守り要員が確保でき次第、開始することとしておりますので、委員の皆様にも御承知おきいただきたいと思います。

次に、学校運営協議会、コミュニティスクールについてであります。6月1日から新たに8校において学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールへの移行を実施いたしました。これをもって、本市の公立小中学校、全19校がコミュニティスクールとなりました。これまでの学校評議員制から、学校運営協議会制とし、コミュニティスクールに移行したことのメリットをポジティブに、前向きに捉えて、地域とともにある学校づくり、そして学校を核とした地域づくり、このキーワードを具体化していけるよう、一生懸命進めてまいりたいと考えております。

そうした中で、課題の1つであります地域学校協働本部の設置につきまして、地域コーディネーター等の担い手を見出しながら、来年度からの正式な設置に向けて準備を進めてまいります。

それから、中学校部活動の地域連携、地域移行につきましても、昨年度に引き続き本年度においても、外部の関係団体やPTAの代表者、学識経験者らによる協議会を設置して、具体的かつ本格的な議論、検討を進めていくことといたしております。これも進捗状況に合わせて、適時、取組状況の報告をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

次に、令和7年昭島市議会第2回定例会、6月議会についてであります。6月9日の本会議を初日に、6月25日まで19日間の会期で開催予定となっております。これにつきましても御承知おきいただきたいと思います。

最後に、委員の皆様には、先日開催をされました東京都市町村教育委員会連合会定期総会、それと関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会、長野大会、また租税教育推進協議会への出席など、大変お忙しい中、まことにありがとうございました。感謝を申し上げます。

本日、私からの報告は、以上となります。なお、教育委員会名義の使用承認につきましても、お手元の資料のとおり、3件であります。

ただいまの報告について、御質問、御意見等ございましたら御発言いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

よろしいですか。では、以上で日程4を終わります。日程5の議事に入ります。本日は、議案、協議事項はございません。報告事項に進めます。

初めに、(1)「昭島市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する外部評価員の委嘱について」事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長（横山学） 報告事項(1)「昭島市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する外部評価員の委嘱について」御説明申し上げます。

点検及び評価に関する外部評価委員は、花田茂委員と倉持伸江委員の2名を委嘱しておりましたが、花田委員が5月末をもって退任され、欠員が生じました。このため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び昭島市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱の規定に基づき、浦和大学子ども学部特任教授の工藤文三氏を委嘱するものです。

任期は令和7年6月5日から令和8年3月31日までといたします。

報告は、以上でございます。

○教育長（山下秀男） (1)について、説明が終わりました。本件に対する質疑、意見をお願いいたします。

よろしいですか。特にないようですので以上で、(1)を終わります。

次に、(2)「ボッチャ・モルック体験会について」事務局より説明をお願いします。

○スポーツ振興課長（吉村久実） それでは、報告事項(2)「ボッチャ・モルック体験会について」御報告させていただきます。

昭島市におけるパラスポーツの普及啓発のため、今、全国で関心が高まっているモルックの体験会と、パラリンピックの正式競技であるボッチャの体験会を実施することで、市民のパラスポーツへの関心を高めることを目的に実施します。

開催日時や会場は表に記載のとおりです。モルックは陸上競技場で実施するため雨天の場合は中止となります。参加費は無料で、事前申込みは不要となっています。周知の方法としまして、6月1日号広報あきしま、市公式ホームページ、Xに掲載のほか、総合スポーツセンターにポスターの掲示やチラシの配布で周知してまいります。

以上、ご報告します。

○教育長（山下秀男） (2)について、説明が終わりました。本件に対する質疑、意見をお願いいたします。

よろしいですか。それでは以上で、(2)を終わります。

次に、(3)「市民図書館・郷土資料室主催事業について」事務局より説明をお願いします。

○アキシマエンス管理課長（勝野玄隆） 報告事項(3)「市民図書館、郷土資料室主催

事業について」御説明いたします。

初めに市民図書館主催事業です。

1、図書館映画会 石原裕次郎の代表作「嵐を呼ぶ男」を7月17日と20日の2回、各回定員200名でアキシマエンス体育館にて上映いたします。あわせて関連図書資料を展示し、図書館の利用推進を図ってまいります。

次に2、子ども読書活動推進事業「調べる学習ってどうやるの？ー？(はてな)を！(わかった)にするヒントー」です。興味のあるテーマについて、児童コーナーから本を探し出し、1枚の画用紙にまとめて、調べ方を学び、図書館を使った調べる学習コンクールの支援をいたします。記載の日時に、アキシマエンス講習・研修室において、小学校低学年、中学年、高学年を対象に、各回定員10名で実施いたします。

次に3、子ども読書活動推進事業「夏休み子どもの調べる学習お助け隊」です。夏休み期間中の7月19日から8月31日まで、市民図書館の子どもカウンターに、子ども向けの相談コーナーを開設し、夏休みの自由研究や、図書館を使った調べる学習コンクールの作品作成に活用していただきたいと思いますと考えております。

次に4、夏休み子ども科学教室です。身近なものをを用いた実験を通じて、楽しみながら原理や仕組みについて学び、科学を身近に感じて興味をもていただき、科学関連の図書に、目を向けるきっかけを作っていきたいと考えております。子ども向けの科学実験教室を行っている団体のSEEDSを講師に、小学生を対象として、7月21日、全5回、校舎棟の会議室と理科・家庭科室において実施いたします。なお、材料費として500円負担いただく予定をしております。

次に5、子ども読書活動推進事業「とびだす絵本をつくろう！」「山本省三原画展」です。8月2日にアキシマエンス講習研修室において、絵本作家の山本省三氏を講師として、小学生を対象に、工作講座を開催いたします。また、イベントにあわせて、原画展を行います。

次に6、子ども読書活動推進事業「本作り教室～自分だけの本をつくってみよう～です。本文を表紙でくるむ「くるみ製本」という手法を、製本キットを使用し、手作りの本を作成します。8月3日、昭和会館第1集会室において、小学4年から6年生を対象に、定員10名で実施いたします。本作りを通して、本そのものに興味を持ってもらい、本を大切に扱うことにつなげていきたいと考えております。

次に7、子ども読書活動推進事業、子ども向け図書館映画会です。「ぼくは王さま ぞうのたまごとにせもの王さま」を8月9日に2回、各回定員50名、アキシマエンスシアターにおいて上映いたします。子ども向けの映画上映により、図書館に来館するきっかけを作ります。

次に8、アキシマエンス5周年記念図書館フェスティバル2025です。図書館フェスティバルは、例年、8月に開催しておりますが、今年はアキシマエンス5周年記念として、規模を拡大し、8月10日と11日の2日間開催いたします。「スタンプラリー」、「映画上映会」、「化石・地質調査の道具展ギャラリートーク」、「ブックホスピタル 壊れた本修理します」、「型抜きアートでかんたん・かわいい・しおりをつくろう」、「ペットボトルキャップでキャンディ型マグネットをつくろう」、「ウクライナ語のおはなし会」、「図書館フェステ

ィバル特別おはなし会」、「あつまれアンペアキッズ」を記載の日時、場所、内容で開催いたします。この図書館フェスティバルの開催により、知の拠点であるアキシマエンスの周知と利用促進を図ってまいります。

続きまして、郷土資料室主催事業です。

1、まが玉作り教室です。石や動物の歯などを材料に作られた、考古遺物のひとつであるまが玉を実際に作る体験を通じて、まが玉が作られた背景や、古代の生活を想像する機会を提供いたします。8月2日に2回、各回定員20で、アキシマエンス校舎棟202から205会議室で実施いたします。

説明は以上でございます。

○教育長（山下秀男） (3)について、説明が終わりました。本件に対する質疑、意見を願います。盛りたくさん、いろいろあるみたいですね。

眞如委員。

○委員（眞如むつ子） ちょっとお伺いします。毎年、夏休みの間の子どもの読書活動に色々配慮していただいているんですが、例年定員に足りない時ってありますか。ものによるとは思うんですけど。

○アキシマエンス管理課長（勝野玄隆） 夏休みの子ども調べる学習お助け隊ですけれども、これは定員等はありませんけれども、大体例年100人程度の相談を受けております。

あと、調べる学習ってどうやるのー？を！にするヒントーですけれども、こちら、定員、各会10名となっておりますけれども、これは定員のほうにはなかなか満たないということで、5、6名程度となっております。

○委員（眞如むつ子） これは希望なんですけれども、とてもいい催しなので、会場によると思うんですね。昭和会館だったら光華小とかあそこって分かると思うので、もし足りない時はちょっとお声をかけられるような、そういうのがあるといいな、と思っています。その定員に満たないのはもったいないなと思いました。

○アキシマエンス管理課長（勝野玄隆） なかなか定員に満たないのが実情でございます。こちらとしても、なるべく子どもに目を引くような形でポスターの掲示などで周知も図っているんですけども、なかなか集まらない状況がありますので、もう少し他のところに声をかけるなどして周知、また多くの方に集まっていただくような形で取り組んでいきたいと思っております。

○教育長（山下秀男） よろしいですか。はい。ほかにございますか。

氏井委員。

○委員（氏井初枝） 今の件にちょっと関係することなんですけれども、私、これ拝見して、その調べる学習の定員が10名って書いてあって、何名くらい例年参加しているんですかとお尋ねしようと思っていたんですけども、定員に満たないって

ことで、私もすごく残念だなと思っております。これは広報でも紹介されていますよね。で、カウンターにとってもかわいい、このくらいの大きさの小さいリーフレットが置いてあるのが大人の私の目に触れまして、家にもあるんですけど、ああいうものを図書館のカウンターの所に置くだけではなくて、各学校に配布するというのはどうかなと思ったんですけど、そこらへんはどのようなになっているんでしょうか。

○アキシマエンス管理課長（勝野玄隆） そちらのリーフレットですけども、今のところ配布する予定はしておりませんでしたけれども、多くの方、児童に集まって受けていただきたいということで、そのような方法もちょっと検討していきたいと考えます。

○委員（氏井初枝） できたらお考えいただけたらありがたいと思います。ただ、リーフレット、とても小さくて可愛らしいので、親御さんの目に触れないとか、どこかに行ってしまったということがあるかとは思いますが、学校でその話をしていただいて、参加したいなと思っている子が自由に、学校で受け取れるみたいなんていう方法はどうかというのを考えましたので、今後の参考にさせていただければと思います。

とにかく、色々な楽しい企画を今年度も計画してございまして、とてもありがたいなというふうに思います。

以上でございます。

○教育長（山下秀男） ありがとうございます。

ほかにもございますか。眞如委員。

○委員（眞如むつ子） すみません、老婆心ながらという感じですけど。

今のお話なんですけど、やっぱり予算があるので、各学校に毎回毎回配るなんていうのは実際はできない話だと思うんですね。でも、それぞれの学校の図書室にちょっと置くと、そこに支援員の方とかボランティアとかいらっしゃるので、そういうところでちょっと関わりを持てるような方向をちょっと探してもらうのもいいのかなと思います。

○教育長（山下秀男） ありがとうございます。やはり全児童生徒への配布は、今はなかなか難しいところがありますので、できるとしたら、今、眞如委員から御提案をいただいた図書室に置くなど、児童生徒の目に触れやすいところ置くのが効果的なのかなと思います。そうした視点を含めて検討していければと思います。よろしく願いいたします。

氏井委員。

○委員（氏井初枝） 付け足しさせてください。学校を通じてというのは、全員に配布をしてくださって意味合いではなくて、こういう調べ学習のことがあって、コンクールがあってというような話をしていただいて、それで参加したいなというお

子さんが、自由に担任から受け取るとか、図書室に置いてあってそれを受け取る
とかっていう形はどうですかってというのは考えておりましたので、ちょっと付け
足しをさせていただきました。

○教育長（山下秀男） ありがとうございます。調べる学習の周知については、学校内
のいずれかにパンフレットを置いてPRしたり、先生方からもコメントできるよ
うにさせていただきたいという部分は、指導課にも協力してほしいと思いますの
で、よろしくお願いします。

ほかにございますか。よろしいですか。それでは以上で、(3)を終わります。

次に、(4)「アキシマエンス音楽室への貸出用カラオケ設備の導入につい
て」事務局より説明をお願いします。

○アキシマエンス管理課長（勝野玄隆） 報告事項(4)「アキシマエンス音楽室への
貸出用カラオケ設備の導入について」御説明いたします。

アキシマエンスの音楽室に、市民の健康増進のためのレクリエーションの提
供として、カラオケ設備を設置し、音楽室利用者に1区分500円の有償で貸出を
いたします。7月1日号の広報あきしまなどで市民に周知し、音楽室の予約受付
を開始、10月1日から利用開始を予定しております。

説明は以上でございます。

○教育長（山下秀男） (4)について、説明が終わりました。本件に対する質疑、意見を
お願いいたします。

紅林委員。

○委員（紅林由紀子） はい。健康増進のために声を出すっていうのはとてもいいことだ
というふうにも聞いておりますので、とてもいいことかと思います。

このカラオケ設備というのは、これはアキシマエンスの音楽室にですけれど
も、市の施設で設置されたり、すでに設置されたりというところは、ほかにある
んでしょうか。

○アキシマエンス管理課長（勝野玄隆） 現在、カラオケの設備、市の施設への設置で
すけれども、高齢者向けとして、松原町の高齢者福祉センターに設置をしており
ます。そのほか、今後、拝島団地の高齢者福祉センター、そちらの方の整備を予
定していると聞いております。

○教育長（山下秀男） 補足はありますか。

○生涯学習部長（磯村義人） 先ほどアキシマエンス管理課長がお答えしたとおりで、
松原町の高齢者福祉センターの方で、今やっております。あと、それ以外につき
ましてはまだ具体的なところは決まっていらないっていうところで、拝島町のと
ころで高齢者福祉センターのほうでも計画を進めるということにはなっておりま
す。

あとそのほかにつきましては今、検討中ということになってございます。

○教育長（山下秀男） 一応、先般の定例記者会見で発表しましたが、既に設置しているのが松原町の高齢者福祉センター、次に、これから防音設備を施してカラオケ設備を導入するのが栢島町の高齢者福祉センター。あと、民間のカラオケボックスを貸していただいて、そちらの1番大きな部屋を安価な利用料で自由に使えるようにするという方向のようです。まだ全体での情報共有がなされていない部分もありますが、安価な使用料で、カラオケボックスが使えるよう協定を結ぶということです。カラオケ団体やカラオケサークルといった、多くのカラオケ愛好者が使えるような運用になってくるのかなと思います。また、アキシマエンスの音楽室についても、カラオケ団体として登録をしていただくと、使用料がかからずに使用することができますし、機材についても、本当に安価で使えることになりますので、カラオケ愛好者にとって朗報だと思っております。

なお、これらの詳細については、広報あきしま等に掲載されると思いますので、そちらをご覧くださいと思います。

ほかにごありますか。

よろしいですか。それでは以上で、報告事項(4)を終わります。

次に、(5)「公民館主催事業について」事務局より説明をお願いします。

○市民会館・公民館長（小林愛） 報告事項(5)「公民館主催事業」5件につきまして、御説明いたします。

1件目、「公民館ふれあいコンサート」でございます。

今回は、昭島市ご出身のお二人、北原恵理さんと佐藤佑香さんによるヴァイオリンとフルートの二重奏です。定員150名、入場無料で、日程等詳細は、資料のとおりでございます。

2件目は、お子さんを対象といたしました「夏休みわくわく体験教室」で、今年度は5つの講座を開きます。

木でカワセミの置きものを作る「バードカービング」、容器の中で変化する結晶等の状態から天候を予想する「ストームグラス」を作る講座、立体式の写真立てを作る講座、子ども向けのプログラミング学習ソフト「Scratch」を使って音の出るアプリを作る講座、ワインのコルクを使ってかざりやマグネットなどを作る講座、の5つでございます。日程等詳細は、資料のとおりでございます。

3件目は、同じくお子さんを対象といたしました「コズミックカレッジ 宇宙教室」でございます。JAXA 宇宙教育センターのご協力をいただき、「ロケットの仕組みと役割」のおはなしを聞いたあとに「ペンシルロケットの工作と打ち上げ」を行います。定員33名、参加費無料で、保護者の見学も可能です。日程等詳細は、資料のとおりでございます。

続きまして、4件目「歴史文化セミナー 日本の城 入門講座」でございます。江戸東京たてもの園 専門調査員の齋藤慎一さんを講師にお迎えし、日本の歴史の中でお城がどのような役割を担ってきたのかなどを学びます。定員45名、参加費は1,000円で、日程等詳細は、資料のとおりでございます。

最後に5件目「夏休み親子映画会」でございます。上映作品名は「FLY！」で

す。安住の地を離れ、まだ見ぬ外の世界へと飛び出したカモの一家が、様々なトラブルに見舞われながらも驚きと感動に満ちた大冒険を繰り広げていく物語です。定員 120 名、入場無料で、日程等詳細は、資料のとおりでございます。

説明は、以上でございます。

○教育長（山下秀男） (5)の説明が終わりました。本件に対する質疑、意見を願います。

氏井委員。

○委員（氏井初枝） 御説明ありがとうございました。こちら色々な企画をして下さってありがたいというふうに思っております。

資料5についてお尋ねいたします。ふれあいわくわくコンサートはとても人気が高く、いつも初日くらいでいっぱいになってしまうのをちょっと耳にしたことがあるんですが、実態はどうなのでしょう。

これに行きたいんだけど、先着順なので行けないっていう方が多いようであれば、事務的な手続きがかかって大変だと思うんですけども、抽選にさせていただくとかという方法があるかなと思ってお尋ねをしております。願います。

○市民会館・公民館長（小林愛） ふれあいコンサートについて御質問をいただきました。今回につきましては、定員 150 名、申し込み順ということでさせていただきます。

昨年度もふれあいコンサートを年に2回行っておりますけれども、多くの方には御利用いただいたものの、満員には至っておりません。今回も多くの方に御利用いただきたいと思っておりますが、満員には至らないという判断のもと、申し込み順とさせていただきます。

多くの方の場合には抽選ということも検討したいと思っております。以上でございます。

○委員（氏井初枝） ありがとうございます。すごく行きたいのに行けなかったみたいなことをちょっと耳にしたことがあったような気がしたものですから、すみません、余計なことを申し上げました。またよろしく願います。

○教育長（山下秀男） ほかにございますか。よろしいですか。それでは、以上で(5)を終わります。

次の、(6)「昭島市教育委員会事務局職員の人事異動について」につきましては、資料配布のみとさせていただきますが、御意見等あれば、発言を願います。

よろしいですね。予定した報告事項は、以上となります。

最後に、日程6「その他」に入りますが、委員の皆様から、ここまで全体を通して何かございましたら、御発言をお願いしたいと思います。

よろしいですか。事務局からなにかあります。

○社会教育課長（泉井桃子） 4月の定例会にて御報告させていただきました昭島かるたについてお伝えさせていただきたいと思います。

4月16日から頒布を行いましたところ、大変御好評いただきまして、午前中に予定数が終了になったことに伴い、このたび増刷をいたしまして、7月2日から再度頒布させていただくことになりました。

市役所の2階社会教育課の窓口にて、1セット1,400円で頒布させていただきます。

併せまして、現在、小中学校の方に1セットずつ配布させていただいているところでございますが、追加で1学年に1セット行き渡るよう、例えば、小学校ですと、すでに1セット配布いたしているところなので、追加で5セットというような形で配布させていただきます。

以上でございます。

○教育長（山下秀男） どのくらい増刷するんですか。

○社会教育課長（泉井桃子） 300セット増刷いたします。小学校等への配布等がございますので、実際、市民の方に頒布する数といたしましては200セット程度でございます。

以上でございます。

○教育長（山下秀男） ありがとうございます。この件に関して、何か御意見、御質問等はございますか。

よろしいですか。ありがとうございます。

それでは、次回の教育委員会の日程について、事務局より説明をお願いします。

○教育総務課長（横山学） 次回の、令和7年第7回教育委員会定例会は、令和7年7月17日、午後2時30分から市役所庁議室において開催いたします。

○教育長（山下秀男） 次回の本定例会につきましては、7月17日の木曜日、午後2時30分から、市役所庁議室において開催をいたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、最後に私から1点、皆様への御報告があります。

平成13年6月24日付けで初めて教育委員会委員に就任されて以来、6期24年間の長きにわたり、昭島市における教育の振興、発展に多大なるご貢献を賜りました紅林由紀子委員におかれましては、6月23日までの任期をもって退任されることとなりました。

紅林委員のこれまでの数々の御功績に対し、衷心より敬意を表し、深く感謝を申し上げますとともに、これからも御健勝にてさらなる御活躍を御祈念申し上げます次第でございます。

どうか、退任後も引き続き、本市教育行政に対し、大所高所からの御指導、御助言など賜りたく存じますので、よろしくお願い申し上げます。

紅林委員、長きにわたり本当にありがとうございました。

(拍 手)

○教育長（山下秀男） なお、新たな教育委員会委員につきましては、今市議会最終日の本会議において、市長から教育委員会委員の任命に関する議案を御提案申し上げ、同意を求めることとしておりますので御承知おきいただきたいと思います。

私からの報告は以上であります。

それでは、退任される紅林委員から、一言お言葉をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員（紅林由紀子） ただいまは本当に身に余る光栄なお言葉、本当にありがとうございました。

やっとこの日を迎えることができました。なんとも驚いたことに、生まれてから大学卒業までと、民間企業に勤めた期間よりも長く、途中3カ月の産休までいただきながら24年間務めさせていただきました。それだけの時間に合う、お役に立てたかどうかというのは本当に全く怪しいものなんですけれども、なんだか役目を終えられてほっとしております。同時に、とても寂しい気持ちと、まだちょっと実感が湧かないというのが正直なところでございます。本当にありがとうございました。

教育に関して全く何の知識も経験もなかった私が、ここまでなんとか続けてこられましたのは、本当に歴代の教育長、そして教育委員の先生方、そして事務局の皆様本当に温かく見守っていただき、たくさん助けていただいて、色々なことを教えていただいたからだということにほかなりません。本当におそらく私の色々な失礼な言動も多々あったかと思うんですけれども、本当にお許しください。ありがとうございました。

また、この場にはいらっしゃらないんですけれども、市内各学校の校長先生方には本当にお世話になりました。

委員になった当初、私まだ40で、この若輩者が、年長の人生の大先輩でいらっしゃった校長先生方に、学校のこと、子どものこと、教育のこと、たくさん教えていただきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいでございます。

少しだけちょっとお話をさせていただきますと、この24年間の経験から私が感じていることを少しだけお話しさせていただきます。

1つ目は、学校にいる時間って、長い人生の中では12年とか16年とか、ほんの短い間なんですけれども、本当に一生の財産を得る貴重な場なんだなということをしみじみと感じております。24年前に教育委員を拝命いたしました時に、何をすべきものなのか、どうしたらいいのか、全くわからず、私は本当に茫然としていたんですけれども、そんな時に心の中に浮かんできたのは、中学校、高校の校訓でした。校訓は、「徳においては純真に、義務においては堅実に」という言葉でございます。意味は、心の持ちようは、自分を偽ることなく、素直に誠実さを大切にし、そして、やるべき行いは粘り強くやり遂げること、というような意味なんですけれども、学生時代は全く全然頭に入ってこなかったというのが正直なところです。

なんですけれども、卒業して20年以上経った時に、自分が困難に直面した時に、その言葉が、ぶわっと思ひ浮かんで来て、背中を押してくれました。学校というのはこういうものなんだなというふうに感じました。

私の場合は校訓ですけれども、そうじゃなくても、恩師の言葉、友達言葉、あるいは出会った本、体験など、そういうものが、その時はなんだかわからない、生きていなくても、種としてその人の中に眠って、そして、何か困難に直面した時やいざという時にそれが育ってくるというか、浮き出てその人を力づけてくれるという、そういうものなんだなというふうに感じております。

本当に学校っていうのはそういう貴重な場であり、そしてまた、昭島の学校はそういう場であってほしいというふうに強く願っております。

2つ目としましては、今、私は64なんですけれども、いくつになっても学ぶことができるというのは本当に幸せなことだなというふうに感じております。この24年間にたくさんのことを学ばせていただきました。

特にそれまで全く知識のなかった特別支援教育に関して、この機会を、この経験を経て、たくさん本を読んで、色々な講演会などにも参加させていただいて、本当に世界が広がりました。今の時代はタイパとかコスパとかが注目されておりますけれども、やっぱり学ぶということは、その人の人生をすごく豊かにしてくれる、まさにタイパ、コスパに似合う、昔の宣伝でね、1粒で2度おいしいというのがありましたけれども、若い方は知らないかもしれないですけども、本当に人生を2倍も3倍も豊かにしてくれるものだなというふうに思っております。これからも色々なことを学んでいきたいというふうに思っております。

最後に、この場をこのように拝見しますと、男性の皆さんには申し訳ないんですけども、女性がたくさんいらして本当に嬉しいというのが私の正直な感想です。24年前の定例会に、女性は教育委員も事務局の皆さんも含めて、私1人だったんですね。というようにところから、このように女性の皆さんが活躍されていらっしゃる場になっているということが本当に心強く、頼もしいというふうに考えております。ぜひこれからの御活躍をお祈りしております。

私の惨憺たる就活の2年後に男女雇用機会均等法が施行されて、世の中というのは変わっていくものだなというふうにしみじみしております。

あと、私が委員になった1番最初の研究発表授業は、習熟度別授業だったんですね。まだそのころは習熟度授業、いいの、悪いのみたいな、そういった時代でした。本当に時代が変わるなということを痛感しております。これからますます変化が激しい激動の時代になっていくと思うんですけども、私は変わらないものを大切に、変わっていくことを楽しんでいきたいというふうに思っております。

教育の分野にも、これからたくさんの難問、課題があることと思いますけれども、皆様におかれましては、健康にはくれぐれもお気をつけいただいて、ぜひご活躍いただきたいというふうに、影ながら応援しております。そして、みんな変わらないものを大切に、変わっていくことを楽しんでいきたいというふうに思っております。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

(拍 手)

○教育長（山下秀男） 紅林委員、どうもありがとうございました。

続きまして、教育委員会委員として、紅林委員と1番長く委員を共にしてこられました氏井委員から、紅林委員への感謝のお言葉を頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。

○委員（氏井初枝） 紅林委員の今のお話を伺って、さすがだなんて。それで、お話伺っている中で、不易と流行という言葉、昔からございますけど、そんなことを思い浮かべながらお話を拝聴させていただきました。

素晴らしいご挨拶のあとで、非常に話にくい部分もありますけども、ちょっとだけお話をさせていただきたいと思います。

紅林委員、いよいよお別れの時が近づいてまいりました。24年間に及ぶ教育委員会の生活にピリオドを打たれて御退任なさるってお話を伺った時に、本当に寂しい思いをいたしました。この定例会と一緒に仕事させていただくのはもう今日で最後なんだなって、今日こちらに来るときも、つらつら色々なことを思い浮かべながら会場のほうに向かいました。

紅林委員の御功績に関しまして、私が今更申し上げることもなく、皆様方お1人お1人がもう熟知なさっていることと思いますが、2つだけ私のほうからお話をさせていただきたいと思っております。

1つ目は、紅林委員と出会った10年ほど前のことです。私が教育委員に着任する約1カ月前の3月の定例会に、実は傍聴させていただく機会があったんです。その時、紅林委員は教育委員長というお立場で、司会をなさったり、それから、教育委員長からの報告っていうようなことで、御自身が参加なさった研修会の概要を、すごく丁寧にお話をなさっていらしたんです。その姿を拝見しまして、それで、翌月からは、もう教育委員会の制度が変わりまして、教育委員長職というのはなくなった、そんな時代だったんですけれども、初めて出会った紅林委員の凛としたお姿が、やっぱり私の頭の片隅に残っていて、とても素晴らしい方なんだなっていうことを感じたことを今でも懐かしく覚えております。

2つ目です。これは、近くで一緒にお仕事をさせていただいていた私だからわかることなのかなと思いますけれども、実は定例会での資料はもう非常によく読み込んでいらして、マーカーでたくさん印がしてあり、ポストイットが貼ってありっていうように、非常に勉強していらっしゃる方だなっていうことを常々感じておりました。今もそれは変わりません。

研修会に参加した時も、すごくいい話だなとのめり込むような講演会の時、私はもうなんか話を聞くだけで、手は全然動かない、私は動かないたちなんですけれども、ふと横を見ると、紅林委員はいつも細かくチェックなさっていて、本当に勉強家の方なんだなということをいつも研修会で御一緒するたびに思っておりました。5月の末に長野の方に同じく研修会に参加させていただいて、2つ、文科省の方と、JAXAの方のお話、とても素晴らしい講演で、すごく私自身も参加させていただいてありがたかったなと思っておりますけど、ふと横を見ると、やはりいつものようにちゃんとこうメモをなさって、本当に素晴らしい方と御一緒に仕事できて、幸せだったなっていうことを、つくづくこの前の研修会の時にも感じました。

紅林委員、本当にありがとうございました。そして、長い間御苦勞様でした。

御退任後も大変御多忙でしょうけれども、どうぞお元気で御活躍いただきたいと思います。

退任なさったあとも、今まで同様にお付き合いをしていただけたらありがたいなって思っております。時々、私、動物園にもふらっと出かけるんですけども、今度はぜひボランティアでいらっしゃる時に行って、御案内していただけたら嬉しいなっていうことも感じております。

以上をもちまして、簡単ではございますが、感謝とお礼の言葉とさせていただきますと思います。

ありがとうございました。

(拍 手)

○教育長（山下秀男） 氏井委員、どうもありがとうございました。

退任される紅林委員、24年の長きにわたり本当にお疲れさまでした。これまでの間には、教育を取り巻く法改正、それに伴う教育委員会の制度改正など、制度や仕組みの変化が何度かございました。言葉の中にもそういったことを示唆された部分がありましたけれども、これからは我々は先を見て、昭島の子どもたちのために、新たな教育委員会委員も含めしっかりとスクラムを組んで、昭島の教育を前へ前へと進めていきたいと思っております。紅林委員におかれては、これからは力強い御支援を、是非ともお願いいたします。重ねて、紅林委員の御健勝とさらなる御活躍を心から御祈念申し上げます。どうもありがとうございました。

それでは、これをもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、令和7年教育委員会第6回定例会を閉会といたします。本日はありがとうございました。傍聴の皆様もありがとうございました。

以上

年 月 日

署 名 委 員

4 番 委 員

5 番 委 員

調 整 担 当